

広報

むろらん

June
6
1999

特 集

情報公開と広報広聴



情報公開と 広報広聴

最近、情報公開ということが盛

んに言われている。それは行政に
関するさまざまな情報が、私たち
のまちづくり参加に当然必要なも
のとして、認識され始めた結果な
のではないだろうか。

ここでは、あるまちの広報広聴
課を舞台に繰り広げられている、
広報紙に載せる特集記事について
のやりとりを通して、情報公開と、
行政と住民をつなぐ広報広聴の役
割を考えてみたい。

※「」の話は物語です。

登場人物紹介

A君…広報担当になつて2年目。
いい広報紙づくりのために常に頑
張つている。
B君…担当課の職員。情報公開に
対しては、少々抵抗を感じている。
課長…広報広聴課の課長。面倒見
がよく、様々なことを知つており、
部下から信頼されている。

一緒に 考えよう 情報公開について

B君 正式に決まっていないのに、
この記事は載せられないよ。今す
ぐこの部分は削除してくれ。

A君 でも、これが大事な部分で
すから、載せなければ意味がない
です。どうしても譲れません。

B君 だめ、だめ。こんなの載せ
たら市民が混乱しちゃうよ。それ
に、決まっていないことを広報紙
で載せることなんてできるわけな
いでしょ。

A君 えー、そんな…。課長、ど
うしましよう？

課長 そうだな、B君の立場も分
かるけど、今は情報公開の時代。
決まっていない事でも、決定する
までの社会的な背景や、その計画
や情報の重要性などは、十分にお
知らせする義務があるんじゃない
かな。突然、「決定した」とて言
われても、住民は納得しないよ。
B君 でも、この記事を載せたら
住民の中で、いろいろな憶測やう
わさが飛び交うし、もう決まった
こととして受けとめられるかもし
れません。どうなるか分かりませ
んよ。

課長 そんなことはやつてみない
と分からぬよ。

情報公開と広報広聴

「これから的情報公開と

広報・広聴の関係は?

課長 2つのまちの取り組みを見てきたが、共に住民に必要な情報を探し、一緒に考えていこうと提供し、一緒に考えていこうと姿勢が表れている。人口やまちの規模の違いがあるにしても、これはこれからの自治体行政の在り方を示しているのではないか。そのためには徹底的な情報公開が必要だ。行政がさまざまな施策を行おうとする時、なぜそういう事を考えたかという過程を明らかにしていく。本当の情報公開というのは、公文書の公開条例があるから公開するのではなく、行政が何を考えているかを積極的にお知らせしていく、物事が決定する前に住民にお知らせするということ、つまり情報を行政と住民が共有するということなんだ。そのためにも広報紙というものが、そこに住んでいる人みんなに語りかけ、そして、それに対し、市民の方から意見なり要望などが返ってくるようないいかな。でも、そうではない物にしていかなければならぬ、

B君 でも、お知らせ広報が悪いというわけではないでしょ?

課長 もちろん制度や催しなどをお知らせするのも大事なことだよ。しかし、住民参加のまちづくりの観点からみれば、どんどん情報を出して、市民に問い合わせていく広報が時代の流れになつてるのは確かだと思うよ。

それには、広報担当者だけが頑張るのではなく、職員全体の意識の変化も求められる。広報することは自分とは関係ないと思っていられる職員がどこのまちでも多いのでなくちや。

A君 つまり行政と住民がキヤツチボールでできる場を作っていく、ということですね。そう考えると、うちの広報紙は、情報公開の点で遅れているかもしれないですね。

B君 でも、お知らせ広報が悪いことは考えてみればすべて当然のことかも知れないね。私の考え方方が少し違っていたかも知れない。よし、この記事を載せることを課長にかけあつてみるよ。うまく説得してみせるよ。

A君 そうですか、良かつた…。

行政と市民が一緒になつて物事を進めていく。そのためには情報公開が必要、ということか。僕たちももっと勉強して住民と一緒にまちをつくるべく、頑張っていかなくちや。

と思うんだ。だからこそ、今までのお知らせ広報的なものではなくて、市民が知りたがっている情報をどんどん取り上げ、公開していくことが必要になってくるんじやないかな。

A君 情報公開が進むということは、行政側の姿勢も問われるが、住民側の姿勢も問われるということになりますね。行政と同じ情報をを持つことになるから、ただ行政を批判するだけではなく、それに対して意見を述べていくことが求められていくのではないでしょうか。

専門課程 介護福祉科 [介護福祉士資格取得] ※国家試験免除
2年制・男女

専門課程 調理師学科 [調理師免許・ホームヘルパー2級(知事交付)] ※国家試験免除
他5つの資格取得
2年制・男女

学校法人北斗文化学園 厚生大臣指定養成校
北海道福祉衛生専門学校

051-0004 室蘭市母恋北町1-5-11 ☎(0143)22-7722 (代) 入試・就職広報室 ☎(0143)22-5005

電話OK
PM7:30まで
☎44-5500

充実した車両、施設、親切で優れた教習指導。
受講生募集
広いコースでらくらく教習!!

北海道公安委員会指定
室蘭中央自動車学園
室蘭市八丁平4丁目17番7号

だいはま



題字

ふかつ ゆりちゃん
(国の子保育所)



いい汗かいだ

一般男子5km優勝の菊地タカシさん。

「天気もいいし、気持ちがいいですね。今度はフルマラソンに挑戦するんですよ」と、疲れを見せない余裕の表情。



中島公園トリムロードと外周コースで、3歳から89歳まで200人以上の市民が、市民健康マラソンに参加した。一生懸命全力で走る人や、楽しみながらゆっくり走る人など、自分の体力に合わせて気持ち良い汗を流していた。(4/29)

「もう楽しくって。こんなに歩けるなんて自分たちでもビックリ。これもみんなで励まし合ったからね」とは、25kmもの道のりを完歩した熊谷淳子さんと久保田竹子さん。

伊能忠敬もこうして歩いた



200年前に日本列島を徒歩で初めて実測した伊能忠敬。その足跡を2年掛かりでたどるイベント「伊能ウォーク」の、室蘭～登別コースが実施された。あいにくの小雨の中、室蘭から参加した1日だけのデイリー隊45人を含む総勢78人が元気に歩き通した。(4/28)



4/16▶5/15

花と緑で春を感じる



「『花・橋・人』心でつなぐロマンあふれるまちづくり」をテーマに、園芸市が開催された。会場にはツツジやオンコ、松などの庭園樹や季節の花苗、園芸小物などが沢山取り揃えられ、花を買い求めに多くの市民が訪れた。(5/8~5/15)



「きれいな花がいっぱいです、すばらしいですね」とは、池亀セイ子さんと後藤京子さん。沢山の花を買い求め「来年もまた花を買いたいです」。

「今年は寒くてちょっと残念だったね」とは、家族大勢で毎年来ているという秋葉次男さん。孫の百華ちゃん(2歳)を抱きながら、「それでも、孫と一緒に楽しんでますよ」。



開館と同時に大勢の家族連れや白鳥大橋を見学に来た観光客らが水族館を訪れ、トドショーやbingoゲーム大会など様々なイベントを楽しんだり、芝生の上でお弁当を味わったりと、思い思いに連休の1日を楽しんでいた。(5/3~5/5)

大勢の人出・水族館こども祭り

